

平成二十二(二〇一〇)年度 法学研究科博士課程前期2年の課程 入学試験問題 (A方式)

(科目名)

知的財産法

第一問

特許法において、権利消尽法理を採用する意義とその問題点について、国際消尽および国内消尽それぞれの採用の可否およびその適用範囲に言及しつつ、論じなさい。

第二問

印刷用書体(タイプフェイス)について、著作権法上の保護は認められるか。関連する重要裁判例にも言及しつつ検討しなさい。